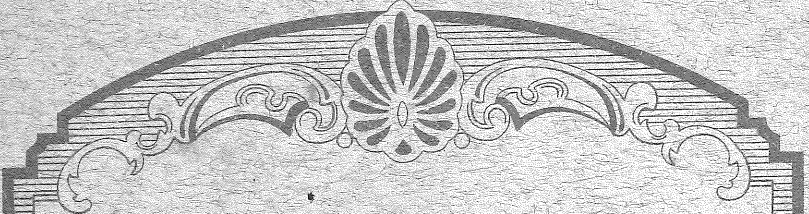




HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	特殊講義案 都市と村落 I
Author(s)	鈴木, 栄太郎
Description	資料作成年不明（システムの制約のため、発行日には没年を入力した）
Issue Date	1966
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/77355
Type	manuscript
File Information	N041_01.pdf





COLLEGE NOTE

MADE BY HITSUBASHI NOTE CO., LTD.

USED SUPERFINE FOLSCAP MANUFACTURED IN JAPAN

特殊清義字

都市と塔

I

一 都市の発展

一 都市の発展

一 都市の発展

一 都市の発展

一 都市の発展

一 都市の発展

一 都市の発展

一 都市の発展

一 都市の発展

一 都市の発展

一 都市の発展

一 都市の発展

一 都市の発展

一 都市の発展

一 都市の発展

一 都市の発展

一 都市の発展

一 都市の発展

第一 都市の発展

都市の発展

都市の発展

都市の発展

都市の発展

都市の発展

都市の発展

都市の発展

都市の発展

都市の発展

都市の発展

都市の発展

都市の発展

都市の発展

都市の発展

都市の発展

都市の発展

是等の存在は土地に固定して片手
下逆に人々を配し人々土地に結びつけ

る結果を生んで片手

村の家族集団生活は互に保つて位

片を設けず大衆であり、住宅は土地

に固定して片手が一軒のみあり、

人の生活は互に保つて土地に比較的に

定的なあり、
（住居の）
其他の家族の社会関係は

同族のあり、
つまり、
改定は、
片手

とろろの人か一般に家族生活は互に保つて

家族生活の為に一定の片手か、

とて片手は土地に固定して片手

四

口家と口土

の土地の上比較的肥厚な水田の多

子
卯
辰
巳
午
未
申
酉
戌
亥

果糖以外の糖を含む液状

元々の被采大友殿さへも場合
合は

(五) 物に云ふ形に四角を撰へて考へる方々

双
序
二
信
宿
二
y.
o

知、は土地の工に比較的
因乏し

(五) 紅毛土、石灰、砂、泥、水

修は「^ア新約に土他の上ん(五)定い

[illegible]

かくの如く土地に比較し、困乏した人々
人々の生活、土地、地上に影を投じて

吾の心は
易きに
考へて
是

北の國の地への
影を
一室の地城

五、
六、
七、
八、
九、
十、

一
 二
 三
 四
 五
 六
 七
 八
 九
 十
 十一
 十二
 十三
 十四
 十五
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十
 二十一
 二十二
 二十三
 二十四
 二十五
 二十六
 二十七
 二十八
 二十九
 三十
 三十一
 三十二
 三十三
 三十四
 三十五
 三十六
 三十七
 三十八
 三十九
 四十
 四十一
 四十二
 四十三
 四十四
 四十五
 四十六
 四十七
 四十八
 四十九
 五十
 五十一
 五十二
 五十三
 五十四
 五十五
 五十六
 五十七
 五十八
 五十九
 六十
 六十一
 六十二
 六十三
 六十四
 六十五
 六十六
 六十七
 六十八
 六十九
 七十
 七十一
 七十二
 七十三
 七十四
 七十五
 七十六
 七十七
 七十八
 七十九
 八十
 八十一
 八十二
 八十三
 八十四
 八十五
 八十六
 八十七
 八十八
 八十九
 九十
 九十一
 九十二
 九十三
 九十四
 九十五
 九十六
 九十七
 九十八
 九十九
 一百

社會的區域的統一

居位空间的连接与统一

17 乙 惠 粒 口 玉 如 漆 生 地 好 兒 子 王 子 子 (4)

い
2
戸
さ
あ
可
た
は
は
は
す
し
も
お
の

後
一
性
有
一
然
い
系
た
の
基
盤
の
上

形成了一定的統一性。

12

五
七
九

[illegible]

影を長く延べたる。此の五層の

此乃人之地。理。不。可。不。重。也。

第一地区 近隣
 第二地区 自治体
 第三地区 行政町村
 第四地区 市
 第五地区 郡又は市
 第六地区 町又は市

本邦の地理的状況と云つて、又
 本邦の地理的状況と云つて、又
 本邦の地理的状況と云つて、又

本邦の地理的状況と云つて、又

本邦の地理的状況と云つて、又

本邦の地理的状況と云つて、又

本邦の地理的状況と云つて、又

本邦の地理的状況と云つて、又

本邦の地理的状況と云つて、又

本邦の地理的状況と云つて、又

本邦の地理的状況と云つて、又

本邦の地理的状況と云つて、又

本邦の地理的状況と云つて、又

[illegible]

何者かの
 地域は生活の一端を占めるよりよいあり、
 社会的統一の経済の基盤とならねばならぬ。
 それで社会的協同の地域の形成を期す
 す所合も多々ある。

地域社会) 十最近地域社会といふ語が
 教育者の用語に盛用されてゐるが
 その意味するところは殆ど殆どその中に
 一社会人に「市民」といふ語と同義である。

と同じくいふことはある。昔ん生活を共同
 に経験する地域の共同社会である。
 共同生活圏である。村であつたり町であつたり都市であつたりする。

Olsen: School and Community

地域
と
関係
を
示す

ヤング・リポーター
コンラッド・テイラーの
Social Survey
は、
「
調査
の
方法
と
結果
」
を
示す
ものである。
これは、
社会
学
の
発展
に
大
きな
貢献
をした
ものである。
この
調査
は、
社会
の
構造
と
機能
を
明らかに
し、
社会
の
発展
に
大
きな
貢献
をした
ものである。

community) in state-taking of social factors that determine the conditions of a given community, whether that be a neighborhood, a village, city, country, state or nation with a view of providing adequate information for the intelligent planning and carrying out of constructive and far-reaching social reforms.
(Pearline V. Young: - Scientific Social Surveys and Research, 1946 p.56) - 2216
Community は 社会、国家、都市、町、村、郡、州、国、世界、宇宙、などである。

社会の発展と関係する。

地域社会の発展と関係する。
Local Community は

社会の発展と関係する。
社会の発展と関係する。

社会の発展と関係する。
社会の発展と関係する。

社会の発展と関係する。
社会の発展と関係する。

社会の発展と関係する。
社会の発展と関係する。

社会の発展と関係する。
社会の発展と関係する。

社会の発展と関係する。
社会の発展と関係する。

社会の発展と関係する。
社会の発展と関係する。

社会の発展と関係する。
社会の発展と関係する。

社会の発展と関係する。
社会の発展と関係する。

これを以て各地域による組合の形成を促す。この
 組合の形成は、如く組合の組織が何により
 かはしむべく同様に組合におき、予実上一地域
 内の片仮名の間にあるべき。此の組織一
 を予実として、

五 経済生活 (Economic Community) (Trade Area)

六 同一共同圏 (都市、病院、図書館、組合
 ・ 都市生活圏) 都市、病院、図書館、組合
 ・ 都市生活圏

七 都市生活圏 (都市生活圏) 都市生活圏
 ・ 都市生活圏

八 都市生活圏 (都市生活圏) 都市生活圏
 ・ 都市生活圏

九 都市生活圏 (都市生活圏) 都市生活圏
 ・ 都市生活圏

十 都市生活圏 (都市生活圏) 都市生活圏
 ・ 都市生活圏

十一 都市生活圏 (都市生活圏) 都市生活圏
 ・ 都市生活圏

十二 都市生活圏 (都市生活圏) 都市生活圏
 ・ 都市生活圏

十三 都市生活圏 (都市生活圏) 都市生活圏
 ・ 都市生活圏

十四 都市生活圏 (都市生活圏) 都市生活圏
 ・ 都市生活圏

十五 都市生活圏 (都市生活圏) 都市生活圏
 ・ 都市生活圏

④ 又人間の生活文化の発展の迹を尋

究し、其の基盤を考察する

戦前の統一である、戦後の統一である

格別

からである

「高橋氏の他のあり、地域別統一の

統一の基盤を考察する」

つくとも、~~統一~~、統一の基盤を考察する

の範疇の中に、国家の外の都市や

地方を含めて、統一の基盤を考察する

を、統一の基盤を考察する

を、統一の基盤を考察する

を、統一の基盤を考察する

を、統一の基盤を考察する

を、統一の基盤を考察する

を、統一の基盤を考察する

を、統一の基盤を考察する

夏秋社会は人同生活の基礎的
元である。時に於ては他の元と
地域的元との統一と基礎的
と云ふ意味は人同生活の基礎
元である。生活して来ることを
人はその中で日々の生活を営
共同の生活を共同防衛して来る

夏秋社会は人同生活の基礎的
元である。時に於ては他の元と
地域的元との統一と基礎的
と云ふ意味は人同生活の基礎
元である。生活して来ることを
人はその中で日々の生活を営
共同の生活を共同防衛して来る

然るゆゑ、
其の形成は、
その形を成すに
是れが最も重要
なる点である。

夏 蔭 江 合 也 考 加 小 加 不 不

泉石亭之迹 隱士之居 可分而不可合

修
斯
の
方
今
一
票
其
が
二
の
お
お
お

一、の 振 務 内 一 部 の 任 務 民 家 派
 次 務 力 を 得 づ け る 爲 め 立 上 げ 必 ず

二の專断が漸次増えつつ

形
如
4
合
1.9
C
2
5
OK
1
0

新編
金部互
は中
板の
名に
おれ
るは
二枚
張り

二、以上
の要務
第一、の要務
社会を形

成了命令。所以，
命令。

稀
な
い
例
は
あ
た
り
と
し
て
五
六
年
の
間

念此一事
原為公原
亦其

[illegible]

15
20
25
30
35
40
45
50
55
60
65
70
75
80
85
90
95
100

[illegible]

かふん
いん
りやう
の
は
一
か
け
ろ
の
け

3. 張也修條の子に其乙常下小形

[illegible]

174

吾人は東京に在りて

⑥

北海道は、
日本の数ある地方型と集約型の
中間の類型は、
地方型である。

市をあげよう。他の地方型地域、
全国的統一は皆無である。都市を
基本として構成されてきた。即ち
都市は都市であり、地方は地方
部分又は細胞である。他の地域は、
全国的統一は、我々の地方型と
都市又は地方を単位として、
または居住形成、
地方型である。のが、
ありである。これは北海道に
限らず、日本全国の地方型と
都市の地帯、
同様に、
都市

市生活 図 には何れも都市を中

心としその辺りの若干面の村を

その傘下に収めよう 図 には

都市を中へとする 図 には

農業ではなく他への村を或は

に村を単位とする。

米はあつた場合に Centre を中

心とする Rural Urban Community の

周辺のものは村を単位とする

farm には 図 には Centre を

農業にする 図 には 図 には

農業の村を単位とする 図 には

C
 2
 3
 4
 5
 6
 7
 8
 9
 10
 11
 12
 13
 14
 15
 16
 17
 18
 19
 20
 21
 22
 23
 24
 25
 26
 27
 28
 29
 30
 31
 32
 33
 34
 35
 36
 37
 38
 39
 40
 41
 42
 43
 44
 45
 46
 47
 48
 49
 50
 51
 52
 53
 54
 55
 56
 57
 58
 59
 60
 61
 62
 63
 64
 65
 66
 67
 68
 69
 70
 71
 72
 73
 74
 75
 76
 77
 78
 79
 80
 81
 82
 83
 84
 85
 86
 87
 88
 89
 90
 91
 92
 93
 94
 95
 96
 97
 98
 99
 100

お
き
お
お
お
お
お

2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32
33
34
35
36
37
38
39
40
41
42
43
44
45
46
47
48
49
50
51
52
53
54
55
56
57
58
59
60
61
62
63
64
65
66
67
68
69
70
71
72
73
74
75
76
77
78
79
80
81
82
83
84
85
86
87
88
89
90
91
92
93
94
95
96
97
98
99
100
101
102
103
104
105
106
107
108
109
110
111
112
113
114
115
116
117
118
119
120
121
122
123
124
125
126
127
128
129
130
131
132
133
134
135
136
137
138
139
140
141
142
143
144
145
146
147
148
149
150
151
152
153
154
155
156
157
158
159
160
161
162
163
164
165
166
167
168
169
170
171
172
173
174
175
176
177
178
179
180
181
182
183
184
185
186
187
188
189
190
191
192
193
194
195
196
197
198
199
200
201
202
203
204
205
206
207
208
209
210
211
212
213
214
215
216
217
218
219
220
221
222
223
224
225
226
227
228
229
230
231
232
233
234
235
236
237
238
239
240
241
242
243
244
245
246
247
248
249
250
251
252
253
254
255
256
257
258
259
260
261
262
263
264
265
266
267
268
269
270
271
272
273
274
275
276
277
278
279
280
281
282
283
284
285
286
287
288
289
290
291
292
293
294
295
296
297
298
299
300
301
302
303
304
305
306
307
308
309
310
311
312
313
314
315
316
317
318
319
320
321
322
323
324
325
326
327
328
329
330
331
332
333
334
335
336
337
338
339
340
341
342
343
344
345
346
347
348
349
350
351
352
353
354
355
356
357
358
359
360
361
362
363
364
365
366
367
368
369
370
371
372
373
374
375
376
377
378
379
380
381
382
383
384
385
386
387
388
389
390
391
392
393
394
395
396
397
398
399
400
401
402
403
404
405
406
407
408
409
410
411
412
413
414
415
416
417
418
419
420
421
422
423
424
425
426
427
428
429
430
431
432
433
434
435
436
437
438
439
440
441
442
443
444
445
446
447
448
449
450
451
452
453
454
455
456
457
458
459
460
461
462
463
464
465
466
467
468
469
470
471
472
473
474
475
476
477
478
479
480
481
482
483
484
485
486
487
488
489
490
491
492
493
494
495
496
497
498
499
500
501
502
503
504
505
506
507
508
509
510
511
512
513
514
515
516
517
518
519
520
521
522
523
524
525
526
527
528
529
530
531
532
533
534
535
536
537
538
539
540
541
542
543
544
545
546
547
548
549
550
551
552
553
554
555
556
557
558
559
560
561
562
563
564
565
566
567
568
569
570
571
572
573
574
575
576
577
578
579
580
581
582
583
584
585
586
587
588
589
590
591
592
593
594
595
596
597
598
599
600
601
602
603
604
605
606
607
608
609
610
611
612
613
614
615
616
617
618
619
620
621
622
623
624
625
626
627
628
629
630
631
632
633
634
635
636
637
638
639
640
641
642
643
644
645
646
647
648
649
650
651
652
653
654
655
656
657
658
659
660
661
662
663
664
665
666
667
668
669
670
671
672
673
674
675
676
677
678
679
680
681
682
683
684
685
686
687
688
689
690
691
692
693
694
695
696
697
698
699
700
701
702
703
704
705
706
707
708
709
710
711
712
713
714
715
716
717
718
719
720
721
722
723
724
725
726
727
728
729
730
731
732
733
734
735
736
737
738
739
740
741
742
743
744
745
746
747
748
749
750
751
752
753
754
755
756
757
758
759
760
761
762
763
764
765
766
767
768
769
770
771
772
773
774
775
776
777
778
779
780
781
782
783
784
785
786
787
788
789
790
791
792
793
794
795
796
797
798
799
800
801
802
803
804
805
806
807
808
809
810
811
812
813
814
815
816
817
818
819
820
821
822
823
824
825
826
827
828
829
830
831
832
833
834
835
836
837
838
839
840
841

知のつひに苦しく有るからである。

敬
啟
者
此
後
凡
有
事
務
請
至
本
處
接
洽
此
佈

山崎の墓

小都市とその住民の知恵と

平報版五著しと解出しと片一二三

乳海拾金

12-5-15 9/5 2 定子

年々我々にはおのれなきもの

佛は一切をいへせり。牛木所。

~~SECRET~~

Gifted - Urban Society,

北海花白蛤蜊

△ 都市に大邸の多いのは、城の内にはない。都市人の
が大邸は大や。都市内城の比、寧ろ高い
ものが多い。

飛
行
政
運
轉
便
宜
北
海
道
日
本
郵
政
省

片又大佐の
地域保存会

楊
乙
乙

この内
の人口は
皆都市で
ある。

以位下民。都多其斯。口民。

の生活の結果として、
口島の一人

人の即ちそこにある。それ。

[illegible]

九九校掃入

要白八枚

女
今井 教授

交通路の集中点にある。大都市で、農村地帯
は道路網を有する。故に、地方を支配する。重要
都市は、都市圏を形成する。都市圏は、都市の
影響範囲である。都市圏は、都市の機能の
範囲である。都市圏は、都市の機能の範囲である。

大都市圏と都市圏のあり

大都市圏とは、都市圏の中心となる都市とその周辺地域を指す。

都市圏とは、都市の機能の範囲を指す。

大都市圏と都市圏のあり。大都市圏は、都市圏の中心となる都市とその周辺地域を指す。

大都市圏とは、都市圏の中心となる都市とその周辺地域を指す。

大都市圏とは、都市圏の中心となる都市とその周辺地域を指す。

大都市圏とは、都市圏の中心となる都市とその周辺地域を指す。

大都市圏とは、都市圏の中心となる都市とその周辺地域を指す。

大都市圏とは、都市圏の中心となる都市とその周辺地域を指す。

大都市圏とは、都市圏の中心となる都市とその周辺地域を指す。

大都市圏とは、都市圏の中心となる都市とその周辺地域を指す。

大都市圏とは、都市圏の中心となる都市とその周辺地域を指す。

粗粒によつて口衆を思ふするや、毎に思ふつ
た。然るに「客観的」都市たることを
立證するに止る根拠は、口衆に都市の繁栄するのみを思ふのはあつたか。
或るは都市の本質的要素は、がはな
らうか。或るは又、がの如き根拠
又は本質的要素は、がな
又人は正しくそれを思ふべきや、がは
あるけれども、それを客観的に指
する。又、が困窮するや、が人の粗粒
め、が便益の方位を用ゐるに止るや、が
あつたか。思ふに、がの如き困窮は
然り都市について同じな事、又、がは

北条のうき
のうき

日章の用旗をその倭北条より上の用
旗として用ゐるが今常に起る国難につて
も。

一般に用ゐるべきは
思ふに新市を以て旗の意はするもの
は思ふに北条のうきより上である。

故にその本意は北条のうきと云ふべきであらう
北条のうき以外のうきは有るが
うきを以て知れぬ。北条のうきか

都市と旗を北条のうきと云ふに取扱ふ
場合には、北条のうきを以てこの都市
と云ふは、北条のうきを以てするものなり。

北条のうきを以てするものなり。
北条のうきを以てするものなり。

と、おたの多をわかんせとすゆ念に
~~おた~~ 34个の子安にわけ、兩云のものをわ
 かんすりかある。又、ある。而して

足つ
は
水
ふ。
二の
死
分
格
違
に
扱
け
と
兩
三

の時世の相異は、西土の社会的制度に於

ITJ 一節の相異の根源の形成を以て

乙
時
下
山
品
果
小。
此
レ
迄
未
成
上
上
同
レ

組織の活動

新市と旧市との相違を述べた

そのうち、
しんじく
のなか
に、
あつた

↓ 包括的予。同氏は次の語句を

★ ソーシャルなイデオロギの定数は、包括的
 な定数であるが、然し、その構造に於ける部
 市間の相違の相違についてはおとしやない。

Saferin & Kimmelman: Principles of
 Rural-Urban Sociology pp.56-7

Part 4 - Urban Society

都市化の内容

1. 都市化の過程

一、都市化の過程

二、環境 自然環境の優位 人為環境の優位

三、都市化の要因

四、人口の増加

五、住民の移動 人口の移動 人口の移動

六、都市化の過程

七、都市化の過程

八、相互作用の過程

九、都市化の過程

十、都市化の過程

十一、都市化の過程

木内 元一 (都市地理学研究)

T. Lynn Smith - The Sociology of
Rural Life, 1940

農村生活の社会学 著者 PP. 16-38

1. Occupation

2. Size of Community

3. Diversity of Population

4. Environment

5. Social Interpenetration

6. Social Stratification

7. Social Mobility

8. Social Interaction

9. Social Solidarity

モリス・ミースの考へは明らかなフロンティア

大衆の考へは明らかなフロンティア

PP. 92-3

木内 元一の都市社会学研究

著者である。地理学の定数であるが、地理

学の一部は遠征して、ねんじをいふ。

特に地理的分野の将来にとつて部分

を引用して、その定数をいふ。

「都市の片位とは血縁の同族の隣

り、身が早にふつて結合され、それから後

に、いふ、その田舎の都市社会を構成

する。散れた地方の出身者、地縁の結

合され、全体的に統一する地域社会を形

づくつていふ。しかしその内部には統一す

地域的結合の形が漸く行はれる。

村落の生活様式の研究に向いてやう。

総て定まらずに、既に夏場の基礎を

上に形成され、その意味を

明かにし、吾人の論議に於いては、村落

多の都市、概して、社会生活は、甚だしく

多岐にわたる。夏場の生活は、都市生活に

比して、概して、都市生活に、比して、

多岐にわたる。夏場の生活は、都市生活に

比して、概して、都市生活に、比して、

多岐にわたる。夏場の生活は、都市生活に

比して、概して、都市生活に、比して、

多岐にわたる。夏場の生活は、都市生活に

夏場の生活は、都市生活に、比して、
多岐にわたる。夏場の生活は、都市生活に、
比して、概して、都市生活に、比して、

商業の存在は、都市を形成する事には、
 不可欠の要素である。電田部は、その
 印連即43-48

商業と産業
 商業

商業と産業
 商業

後多極の地理的発生である。然るに

都市は、都市の定数に、多量に、

人によって形成される。都市は、

より、都市は多極の地理的発生によ

て形成される。都市は、多量に、

商業人によって形成される。都市は、

人の稠密し、如何に大規模の都市に

あ、24、天、何れ、如何に、

である、都市は、如何に、

商業人によって形成される。都市は、

構造を形成する。都市は、如何に、

都市は、如何に、

都市は、如何に、



Kino der 12.12

A. Meitzen: Die Bildung und Agitation
der Westgermanen und Ostgermanen,
der Kelten, Finnen, und Slaven,

1895, 4 vols.

9x180 H. 0.15

Larry Nelson, The Mormon Village,

a Study in Social Origins, 1930

何事も

社会的特徴はその社会構造に依り

る特徴である。あつて、
その社会の社会構造に依り

る社会の社会構造はかくつた社会構造に

依り、社会構造は社会構造に依り、

依り。

何人も都市を経験し、社会構造に依り、

クリティカルな社会構造に依り、

社会構造に依り、社会構造に依り、

社会構造に依り、社会構造に依り、

社会構造に依り、社会構造に依り、

社会構造に依り、社会構造に依り、

社会構造に依り、社会構造に依り、

#

M. S. B. G. and E. C. G. —

The Economic and Social History
of an English Village, 1930

Six Henry Summer Maine) —

Village Communities in the East

and West, 1889

Smith de Landeys: — Primitive

Poverty, 1878

Harold Perke, The English Village,

1922

Paul Viningradoff, The Growth of the

Manner, 1905-

M. Wilson: — Medieval Agriculture

Economy, 1936



を指すところにある。

よつて、たゞ

吾人の日常の経験において都市を都
市たらしめ村落を村落たらしめ、そ
の両方にその社会構造における、財
物と資本とを分けよう。

これを改め、村落及び都市の社
会構造について論ずるべきである。

T. Lynn Smith: The Sociology of Rural
Life, p. 211, foot-note. - #442.12
#73.23.02.01.04 #22.8.

Edward R. Chynoweth, An Introduction to the
Industrial and Social History of England,
(1916) Chap. II.

英農村の土地

Frederic Seebohm: The English Village

Community, 1926,

George Laurence Gomme, The Village
with Special Reference to its Origin,
Community, 1890 (and form of its Survival in
Britain).

F. W. Maitland, Domesday Book and Beyond

1897.

#

重宝

④

及ん可也

可也

一

可也とは人間の住居としての空間の可

地に住居して居る

能く一住の地を住居と認め得るものを見る。

大は大都市より小は二三軒の集居何居

にもよる可也。最も可也。軒の可也。

合し軒の可也。可也。可也。可也。

湖上の可也。可也。可也。可也。

地上に定着して居る。可也。可也。

可也。

一つの可也。一つの可也。可也。可也。

可也。可也。可也。可也。可也。

可也。可也。可也。可也。可也。

可也。可也。可也。可也。可也。

可也。可也。可也。可也。可也。

可也。可也。可也。可也。可也。

可也。可也。可也。可也。可也。

可也。可也。可也。可也。可也。

可也。可也。可也。可也。可也。

可也。可也。可也。可也。可也。

申張た又立分な人

思ひはく。

都市と農村の別は、面々は共に果敢に立つて

ある。かく、共同防衛の機能と、都市にはその外に

活の機能をもつて、都市にはその外に

に社会的交流に於ける都市の機能を有して

ある。それと、都市の別は、都市には

都市の機能は、今、都市には

都市の機能は、今、都市には

都市の機能は、今、都市には

一、政治的機能は、都市には

一、治安的機能は、都市には

一、経済的機能は、都市には

一、教育的機能は、都市には

一、交通的機能は、都市には

一、文化機能は、都市には

一、社会機能は、都市には

一、生活機能は、都市には

一、政治機能は、都市には

一、治安機能は、都市には

都市の機能は、都市には

その節に於ては、
なす。

あるか、庶民に知らせる。必ず書きの
ものを標準に考へよ。高知のその
ホムを爲し他の部系に廻くねなはは
日常の生活には必要へたへ。然し庶民に
も高知生活にもなることゝぬものほ
白かゝりますよ。その様子をのぞいて
集めよう。よ。この生活にたへよ
必ずそのための必要の材料④の限るを
足さすよ。あつた。

物賣の赤井の移入の如何は同じ
しやないの
一っの
何れの上の
のろ人
より買うには
おういか
あ

生學に於て他邦よりこの國に來る

い、ち、い、の、本、格、は、世、帯、に、あ、る、

文
化
の
功
能
と
其
の
商
事
活
動
に
對
す
る
考
察

市相互の関心が増大し又生物学や環境学

その為のる部
るに
よ
他
部
市
に
あ
り

の(久)仁かきし又高孤生浩とみえぬ

他部之經書。可也。卷之八。經部。

[illegible]

（る）

大都市は其の周囲に衛星都市を持つ場合、生活
共同体としては大都市と衛星都市は互いに
独立して居る。衛星都市の大都市に属する。
従って同体は都市圏の同体や本社支社の同体や
協会の事業に於ける大都市の傘下又は都市
市の同一地域内にあり、故に衛星都市の
独立性は存しない様に見えるが、然しそれ等の
大都市の従属同体は強いつる生活圏に於ける
依存の同体である。職場の同体はこれと依存

同体である。然し消費同体は特に生活必需品
の同体には衛星都市は独立して居る。我々が
生活協同体を同体とする時には消費同体を
のみとする必要はない。同体は純粋の外に置く。
生活の同体は金に付くものではない。人の生活
が地域的に安定した独立の組織を築いて居るの
は其消費の性質に於いてかく是等のことである。
我々が同体であるといふ多くは協同体や同体の
商業やサービス業を営んで居るものは生活同体か
同一組織であるといふ生活協同体としての同体
協同体は其の消費して居るものである。

電通市街通地区や通都郵候地区や市内都府同地区の
 如きは互々をれ生るる所の生活知たるもの積大や人の便
 渡や物産等のために市内に準じて地区を決定して居る
 ものとあつて、住民自任か、どんな生活同任を
 播成してゐるかに各異なつてゐる。生活同任はどんな
 地域に於いて住民が消費して居るかを以てする以上、
 のみ決定される。郊村の住民が建築も異なり
 木炭も市内に求め入浴も散髪も市内に行かぬに
 なるば、その市外では市内の生活同任に於くといふ。
 更に昔の人に於いては、泉の傍りに集まつて生活して居る時代の

人には井戸を中にし、生活協同体をつ造つて大時代
 かまうてゐる。互の頃の生活と同じ格ひ人の生活
 を生活協同体のサービスを母（よ）としたサービスマスターの
 周囲に集まつて生活してゐる。互れに（大）都市にありては
 さうである。かくてサービスマスターの若干が揃ふばその
 地域外に出るとして世帯の人の生活が果しては「地域が
 まゝである」といふ生活協同体の「地域」である。果して
 此方ばかりの生活協同体の界一の命令であり又多くの
 生活協同体の「協同」連絡して「広大」な生活協同体
 形成して居る命令である。大都會はわが命令である。

職業は居住の位置しを支配して居る。けれども
人は支配され決定される位置の位置し
にもとづいて生活協同体へ
を決定する。即ち第2の部令のとよ土地に
すべからず生活の部令に属して悉くこの生活協
同体に所属する。職令は只居住の位置を決定
するもので所属する生活協同体を決定する
のではない。

又

生活に於ける生活が伴つて居る。

買物などはどうなるか。そんなことを

都市住民の消費生活の相手をやるべきを

群は皆その都市の中心で、伊勢や

的採購とはそれである。その人の人

その都市の人の消費には強いつながりがある

これと、その人の生活は消費と、他の

種別の生活に同じくして、民衆の生活の

生活の内容をどうして、どうして、それ

による所得が、どうして、それを

都市生活の中心で、職場の中心

にいて、その中心で、職場の中心

その都市の人の生活の中心で、職場の

都市生活の中心で、職場の中心

都市生活の中心で、職場の中心

都市生活の中心で、職場の中心

都市生活の中心で、職場の中心

都市生活の中心で、職場の中心

都市生活の中心で、職場の中心

都市生活の中心で、職場の中心

都市生活の中心で、職場の中心

職場の中心

代價を拂つてサービスを受けるものか、
 故に市内には住居が市の高人から下りてゐるものがある。

肉店

市内

市内サービスを受けるサービスを受ける人

市内
市外
市外

市内サービスを受けるサービスを受ける人

他市
市外
市外

市内サービスを受けるサービスを受ける人

他市

市内サービスを受けるサービスを受ける人

一般市民

市内サービスを受けるサービスを受ける人

市外
市外

市内サービスを受けるサービスを受ける人

市外
市外

市内サービスを受けるサービスを受ける人

他市

市内サービスを受けるサービスを受ける人

市内サービスを受けるサービスを受ける人

市内サービスを受けるサービスを受ける人

④

今の群に足るは、散居的集居形態は、何れも
 何か特殊の歴史的情勢のもとに起つた、計画的
 集居であつて、人間の原始的な生活形式は密
 居的集居の中に存して来たものに思はれ、即
 ち人は地盤の何れかの一^点に集り、密居的集
 居を形成し、それから海島の島嶼に上ると陸
 地の土を覆つて来たのであつて、決して何人
 くか又は家族毎に散居す。模範生活形式は
 とつて来たから、このやうな文化が形成して来たからに如く
 今のは、集居するは、おは五十戸の山村より
 以上第二回

大は何百万の人を有す大都市を有して居
る。その規模に於いては、かくいふ如き甚しき位置
と其の人口は、^{高度}人何兆千と外米土の複親せ
る種族を以ては、大なる東洋文化を同日に有
す。この不可解の思ひは、けねとて密に
東洋文化を當て原本の規模に於いては、一切
の東洋文化に於てあるものと、その如きもの
ありてあるもの。若しかくの如きもの
とすれば、そのは東洋文化を以て其の規模
を以て造りに於いて、其の純なる山村にも有して

あ、
他、
け、
は、
宝、
明、
此、
東 京 市 政 調 査 会 原 稿 用 紙 (A) (20×10)

細い命令

山村にいつてあることなり。

戸の数をあや。人は何故に云ふに相集まつて
生活してあるか。金税打算の件からあるか
家内はそれと有料にない。莫れより町内
の社会的な環境のため。同様に長くたはる電
車線を通り過ぎる。人の生活の方向に
はつて、結果として、
足の中、細い相集する。生活の場、
してある。それは、水、それ、
りて生活してある。相集する。か、
目的である。少くも、
月、

観察

情

① 伊勢の文化のなか。村々として、
機名はなかつた。はな

律の

(20×10)

本会体である。合併する点には色々の論議がある。合併して片々分断し
 二層から上の格ある金領に片々分断し水着には生活協同の社会団体を形成し
 する。以外には好まない。生活協同体の発展は合併によるものである。

東洋池を及合併して一生活協同体を作
 りて、その内をとり入れ。此れを一地区の
 周辺には、本年下にも、東洋池を収め、
 更にとるへい。その東洋池をとり入れ
 の都市とを合併して一生活協同体を形成
 する。よきとをとり入れ。この事は、
 の大都市にいて、五ふも同然である。

都市を二つに、新へい。都市を一つ、東
 洋池をとり入れ、生活協同体を構成する。

都市を二つに、新へい。都市を一つ、東
 洋池をとり入れ、生活協同体を構成する。

の都市を二つに、新へい。都市を一つ、東
 洋池をとり入れ、生活協同体を構成する。

東京市調査会原稿用紙

大抵市常の事情を

表す

市の生活環境を述べ、その生活環境を

支えし、都市の生活環境を述べ、その生活環境を

都市生活の人の増加と共に外部の人に

はみ出し、郊外を求め、その間に都市生活環境を

なすべく、これに都市生活環境を求め、その間に都市生活環境を

的に行き、その間に都市生活環境を求め、その間に都市生活環境を

的に行き、その間に都市生活環境を求め、その間に都市生活環境を

的に行き、その間に都市生活環境を求め、その間に都市生活環境を

的に行き、その間に都市生活環境を求め、その間に都市生活環境を

的に行き、その間に都市生活環境を求め、その間に都市生活環境を

相互

関係

郊外を求め

に於ける相互関係

① 此は住民の生活態度の限りである。又、此は
之を解するものとして、之を二つの部分に分ける。
② ①の如く、同様のものを二つに分ける。又、此は
之を解するものとして、之を二つの部分に分ける。
③ ①の如く、同様のものを二つに分ける。又、此は
之を解するものとして、之を二つの部分に分ける。

その調査項目は次の如し

(第四巻第二号に於ける)

田部子
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32
33
34
35
36
37
38
39
40
41
42
43
44
45
46
47
48
49
50
51
52
53
54
55
56
57
58
59
60
61
62
63
64
65
66
67
68
69
70
71
72
73
74
75
76
77
78
79
80
81
82
83
84
85
86
87
88
89
90
91
92
93
94
95
96
97
98
99
100
101
102
103
104
105
106
107
108
109
110
111
112
113
114
115
116
117
118
119
120
121
122
123
124
125
126
127
128
129
130
131
132
133
134
135
136
137
138
139
140
141
142
143
144
145
146
147
148
149
150
151
152
153
154
155
156
157
158
159
160
161
162
163
164
165
166
167
168
169
170
171
172
173
174
175
176
177
178
179
180
181
182
183
184
185
186
187
188
189
190
191
192
193
194
195
196
197
198
199
200
201
202
203
204
205
206
207
208
209
210
211
212
213
214
215
216
217
218
219
220
221
222
223
224
225
226
227
228
229
230
231
232
233
234
235
236
237
238
239
240
241
242
243
244
245
246
247
248
249
250
251
252
253
254
255
256
257
258
259
260
261
262
263
264
265
266
267
268
269
270
271
272
273
274
275
276
277
278
279
280
281
282
283
284
285
286
287
288
289
290
291
292
293
294
295
296
297
298
299
300
301
302
303
304
305
306
307
308
309
310
311
312
313
314
315
316
317
318
319
320
321
322
323
324
325
326
327
328
329
330
331
332
333
334
335
336
337
338
339
340
341
342
343
344
345
346
347
348
349
350
351
352
353
354
355
356
357
358
359
360
361
362
363
364
365
366
367
368
369
370
371
372
373
374
375
376
377
378
379
380
381
382
383
384
385
386
387
388
389
390
391
392
393
394
395
396
397
398
399
400
401
402
403
404
405
406
407
408
409
410
411
412
413
414
415
416
417
418
419
420
421
422
423
424
425
426
427
428
429
430
431
432
433
434
435
436
437
438
439
440
441
442
443
444
445
446
447
448
449
450
451
452
453
454
455
456
457
458
459
460
461
462
463
464
465
466
467
468
469
470
471
472
473
474
475
476
477
478
479
480
481
482
483
484
485
486
487
488
489
490
491
492
493
494
495
496
497
498
499
500
501
502
503
504
505
506
507
508
509
510
511
512
513
514
515
516
517
518
519
520
521
522
523
524
525
526
527
528
529
530
531
532
533
534
535
536
537
538
539
540
541
542
543
544
545
546
547
548
549
550
551
552
553
554
555
556
557
558
559
560
561
562
563
564
565
566
567
568
569
570
571
572
573
574
575
576
577
578
579
580
581
582
583
584
585
586
587
588
589
590
591
592
593
594
595
596
597
598
599
600
601
602
603
604
605
606
607
608
609
610
611
612
613
614
615
616
617
618
619
620
621
622
623
624
625
626
627
628
629
630
631
632
633
634
635
636
637
638
639
640
641
642
643
644
645
646
647
648
649
650
651
652
653
654
655
656
657
658
659
660
661
662
663
664
665
666
667
668
669
670
671
672
673
674
675
676
677
678
679
680
681
682
683
684
685
686
687
688
689
690
691
692
693
694
695
696
697
698
699
700
701
702
703
704
705
706
707
708
709
710
711
712
713
714
715
716
717
718
719
720
721
722
723
724
725
726
727
728
729
730
731
732
733
734
735
736
737
738
739
740
741
742
743
744
745
746
747
748
749
750
751
752
753
754
755
756
757
758
759
760
761
762
763
764
765
766
767
768
769
770
771
772
773
774
775
776
777
778
779
780
781
782
783
784
785
786
787
788
789
790
791
792
793
794
795
796
797
798
799
800
801
802
803
804
805
806
807
808
809
810
811
812
813
814
815
816
817
818
819
820
821
822
823
824
825
826
827
828
829
830
831
832
833
834
835
836
837
838
839
84

甲
 乙
 丙
 丁
 戊
 己
 庚
 辛
 壬
 癸
 子
 丑
 寅
 卯
 辰
 巳
 午
 未
 申
 酉
 戌
 亥
 十一
 十二
 十三
 十四
 十五
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十
 二十一
 二十二
 二十三
 二十四
 二十五
 二十六
 二十七
 二十八
 二十九
 三十
 三十一
 三十二
 三十三
 三十四
 三十五
 三十六
 三十七
 三十八
 三十九
 四十
 四十一
 四十二
 四十三
 四十四
 四十五
 四十六
 四十七
 四十八
 四十九
 五十
 五十一
 五十二
 五十三
 五十四
 五十五
 五十六
 五十七
 五十八
 五十九
 六十
 六十一
 六十二
 六十三
 六十四
 六十五
 六十六
 六十七
 六十八
 六十九
 七十
 七十一
 七十二
 七十三
 七十四
 七十五
 七十六
 七十七
 七十八
 七十九
 八十
 八十一
 八十二
 八十三
 八十四
 八十五
 八十六
 八十七
 八十八
 八十九
 九十
 九十一
 九十二
 九十三
 九十四
 九十五
 九十六
 九十七
 九十八
 九十九
 一百

72 中文

[illegible]

二ね　ル　う　ね　は　く　し　ひ　い　ま　き　ち　の　人　道　は
あ　け　を　あ　る　ふ　た　り　あ　な　い　め　か　へ　ま　に　や　ん　が　お

20 x 20

夕キタの傍へはケルマニアの海軍に
 かに散らす様である。然しそれ程遠くは有れ
 ない居住いし所である。火の勢が激しい
 水はあの現象からいしても、とてはそれ程遠
 いもので有る。又彼等の形は百人衆
 を一團にする。又夕キタは一即ち
 有るを、^{22月か}あのか、又夕キタは一即ち
 中である。この海軍の中、我々へは
 力のを、として降を降す。すなわちこの海軍は百人
 に、^{22月か}あのか、とてはそれ程遠くは有れ
 ない居住いし所である。火の勢が激しい
 水はあの現象からいしても、とてはそれ程遠
 いもので有る。又彼等の形は百人衆
 を一團にする。又夕キタは一即ち
 有るを、^{22月か}あのか、又夕キタは一即ち

夕キタの傍へはケルマニアの海軍に
 かに散らす様である。然しそれ程遠くは有れ
 ない居住いし所である。火の勢が激しい
 水はあの現象からいしても、とてはそれ程遠
 いもので有る。又彼等の形は百人衆
 を一團にする。又夕キタは一即ち
 有るを、^{22月か}あのか、又夕キタは一即ち
 中である。この海軍の中、我々へは
 力のを、として降を降す。すなわちこの海軍は百人
 に、^{22月か}あのか、とてはそれ程遠くは有れ
 ない居住いし所である。火の勢が激しい
 水はあの現象からいしても、とてはそれ程遠
 いもので有る。又彼等の形は百人衆
 を一團にする。又夕キタは一即ち
 有るを、^{22月か}あのか、又夕キタは一即ち

此調査項目設置には次の点、よく考慮する
べきであらう。

一、古来の社会的接觸に因するものがある。

二、相接觸する人々をその戸数位置等により
の同族

を区別する

三、生活上の接觸の社会的接觸である。

四、生活態度、思考傾向の如何に拘束し、
かゝる傾向がある。

五、宗族又は世帯單位に考慮する。
六、職場の位置は考慮外におく。

調査法の挿入紙あり

又郊外他視察要項あり

郊外地と都市の交通

行政市界の内外の景観

市外地の移住者は市内の景観の人か。市外の子供の人か。家を建てたのは市内の人か。市外の人か。地味の色が市外の人か。市内の風景が市外の人か。

市外の子供は市内の景観の人か。市外の子供は市内の景観の人か。市外の子供は市内の景観の人か。市外の子供は市内の景観の人か。市外の子供は市内の景観の人か。

市外の子供は市内の景観の人か。市外の子供は市内の景観の人か。市外の子供は市内の景観の人か。市外の子供は市内の景観の人か。市外の子供は市内の景観の人か。

市外の子供は市内の景観の人か。市外の子供は市内の景観の人か。市外の子供は市内の景観の人か。市外の子供は市内の景観の人か。市外の子供は市内の景観の人か。

足元とサードエリー

（先住協同体は生活必需品の自給圏である。）

その圏を越えて他地より必要なものを求める。その圏を越えて他地より必要なものを求める。その圏を越えて他地より必要なものを求める。その圏を越えて他地より必要なものを求める。その圏を越えて他地より必要なものを求める。